



中部電力

2021年度第1四半期 決算説明資料

2021年7月30日

	<スライド番号>
I 2021年度第1四半期 決算概要	
決算概要 1
セグメント別決算概要 4
発電電力量 8
(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績) 9
2021年度 業績見通しの概要10
(参考) 期ずれ影響のイメージ (年度見通し)12
II 参考データ：決算・財務関連	<スライド番号>
連結収支比較表13
連結財政状態の概要14
財務関連指標等15

I 2021年度第1四半期 決算概要

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「1 Q」表記は4月から6月までの期間を指します。
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

〈決算のポイント〉（連結）

- 売上高：5,249億円
「収益認識に関する会計基準」の適用影響（△1,664億円）などから、前年同期に比べ1,574億円の減収。
- 経常利益：485億円
期ずれが差益から差損に転じたこと（△160億円[50億円→△110億円]）や、ミライズにおける競争影響および卸電力取引市場の価格上昇に伴う電源調達コストの増加などはあったものの、JERAにおける利益の増加（期ずれを除いた影響：+333億円）などから、前年同期に比べ3億円の増益
（参考）期ずれを除いた経常利益：600億円程度

- ・ 売上高は、2020/1Qに続き、2年連続の減収
- ・ 経常利益は、2019/1Q以来、2年ぶりの増益
- ・ 2009/1Q以来、12年ぶりの減収増益

(億円,%)

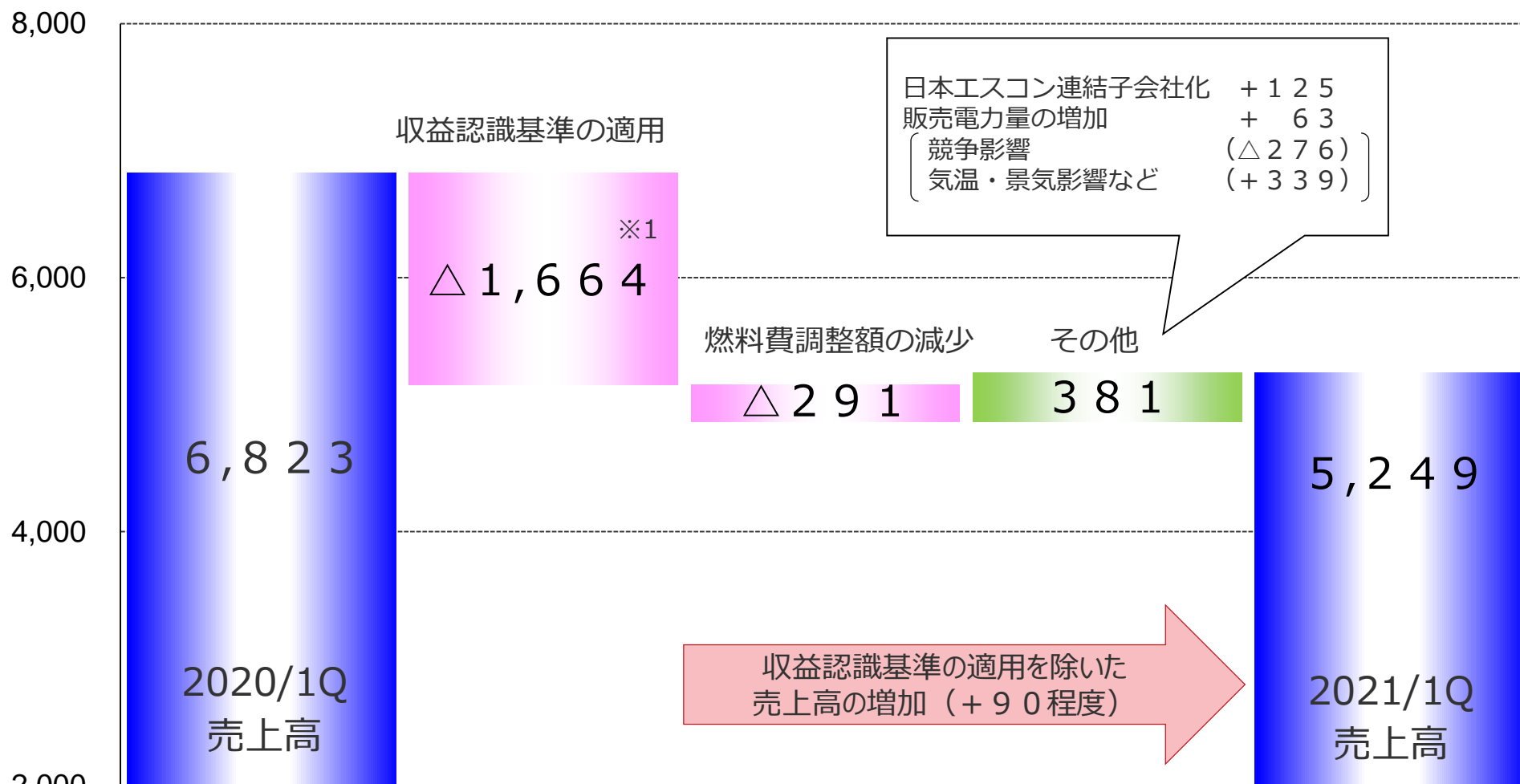
	2021/1Q (A)	2020/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	5,249	6,823	△1,574	△23.1
営業利益	223	384	△161	△42.0
経常利益	485	481	3	0.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	337	337	△0	△0.2

(注) 連結対象会社数 2021/1Q 連結子会社 53社(+18社) 持分法適用会社 54社(+7社) [() 内は前年同期差]

決算概要②

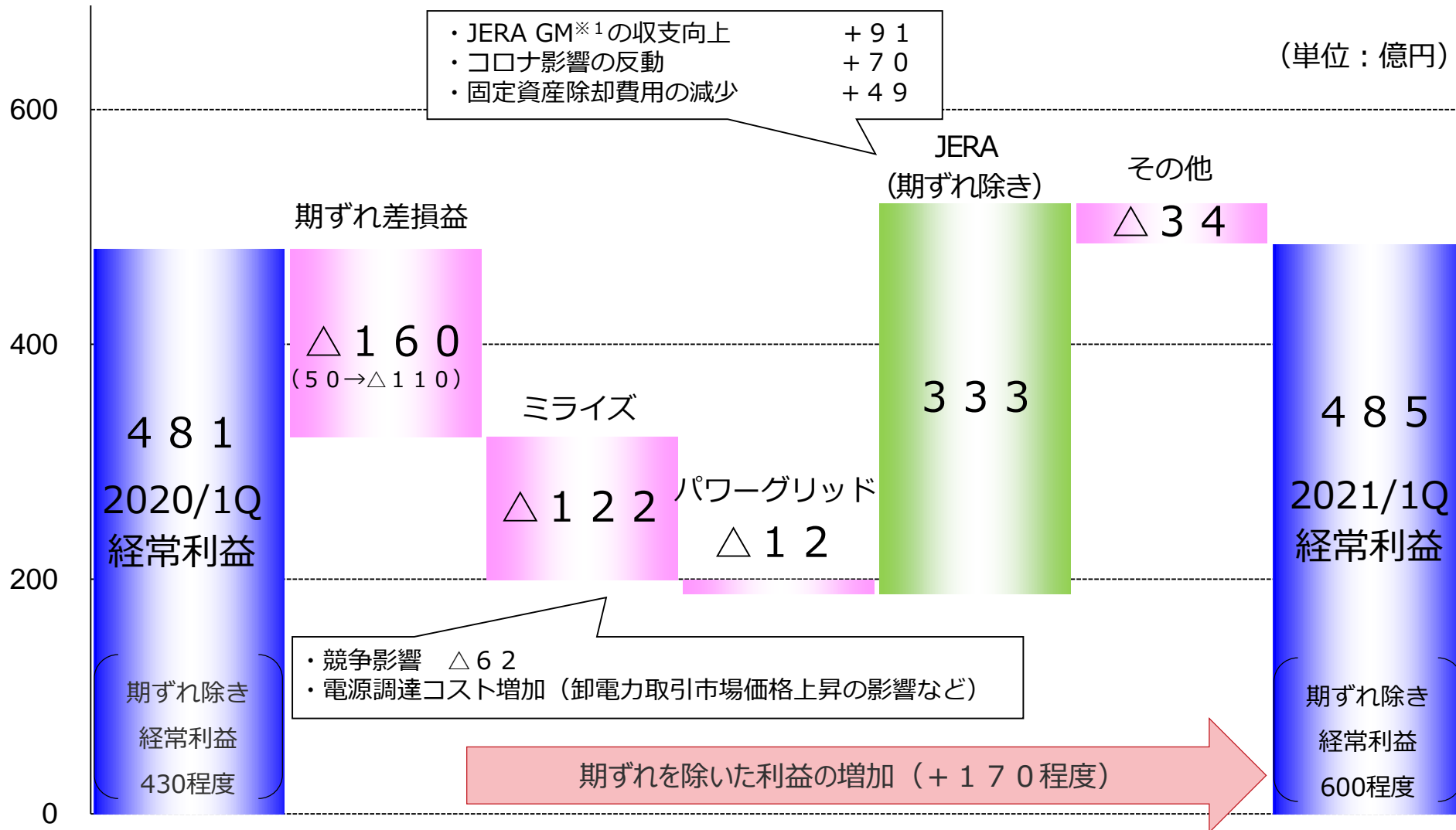
〈連結売上高の変動要因〉 (1,574億円の減収)

(単位：億円)



決算概要③

〈連結経常利益の変動要因〉 (3億円の増益)



※1 LNGおよび石炭トレーディング事業を行うJERAの海外子会社

セグメント別決算概要①

【売上高】

(億円,%)

	2021/1Q (A)	2020/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	4,095	5,845	△1,749	△29.9
パワーグリッド	1,738	1,703	34	2.0
その他 (※1)	1,811	1,623	187	11.6
調整額	△2,396	△2,350	△46	2.0
合計	5,249	6,823	△1,574	△23.1

【経常損益】

(億円,%)

	2021/1Q (A)	2020/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	45	167	△122	△73.1
パワーグリッド	47	59	△12	△20.5
J E R A (※2)	288	115	173	149.8
その他 (※1)	903	361	541	149.5
調整額	△798	△223	△575	258.0
合計	485	481	3	0.8

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

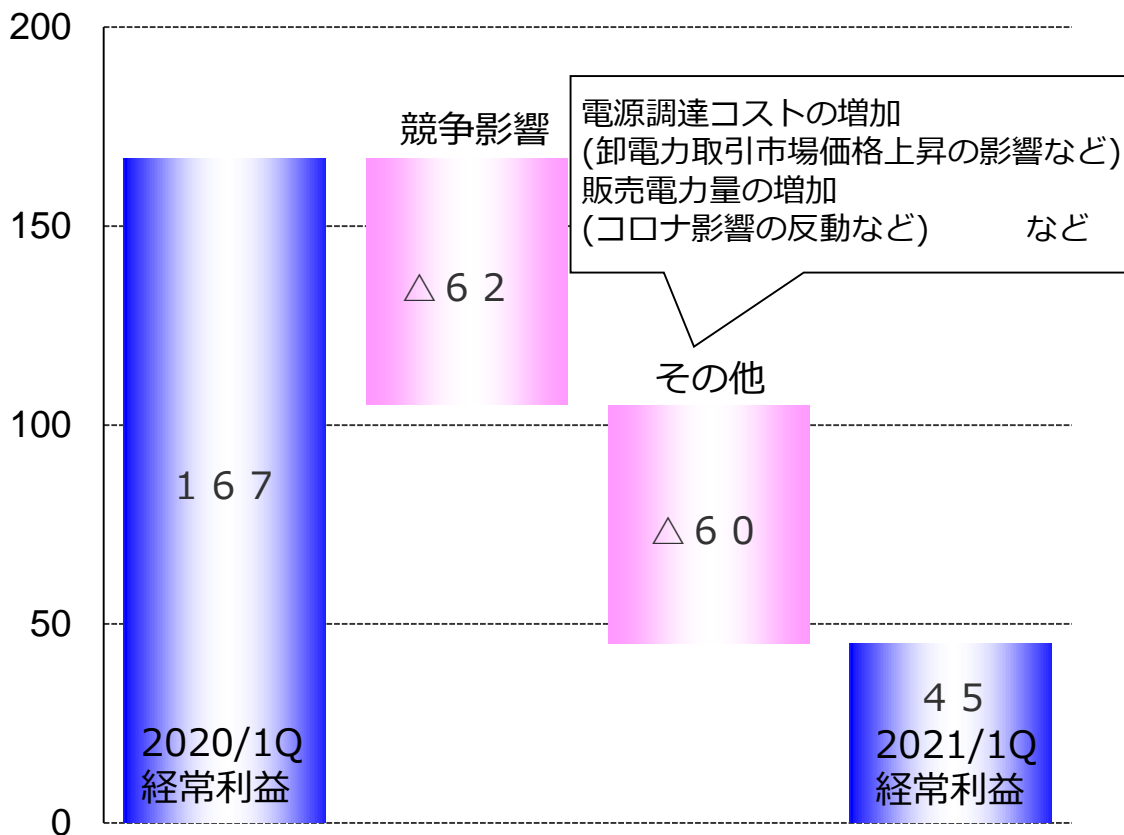
※2 J E R A は、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

セグメント別決算概要②：ミライズ

〈経常利益の変動要因〉

- 新型コロナウイルス感染症影響の反動などによる販売電力量の増加はあったものの、競争影響による収支悪化や卸電力取引市場の価格上昇による電源調達コストの増加などから、前年同期に比べ 122億円の減益

(単位：億円)



(販売電力量)

(億kWh,%)

	'21/1Q (A)	'20/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	69	75	△6	△8.4
高圧・特別高圧	185	175	10	5.6
合計	254	251	3	1.4

競争影響△15程度、気温・景気等+18程度

[参考]

グループ合計の 販売電力量	273	261	12	4.8
------------------	-----	-----	----	-----

他社販売電力量	19	16	3	19.8
---------	----	----	---	------

※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。

※ 他社販売電力量は中部電力ミライズの子会社および関連会社への販売電力量を除いて記載しております。

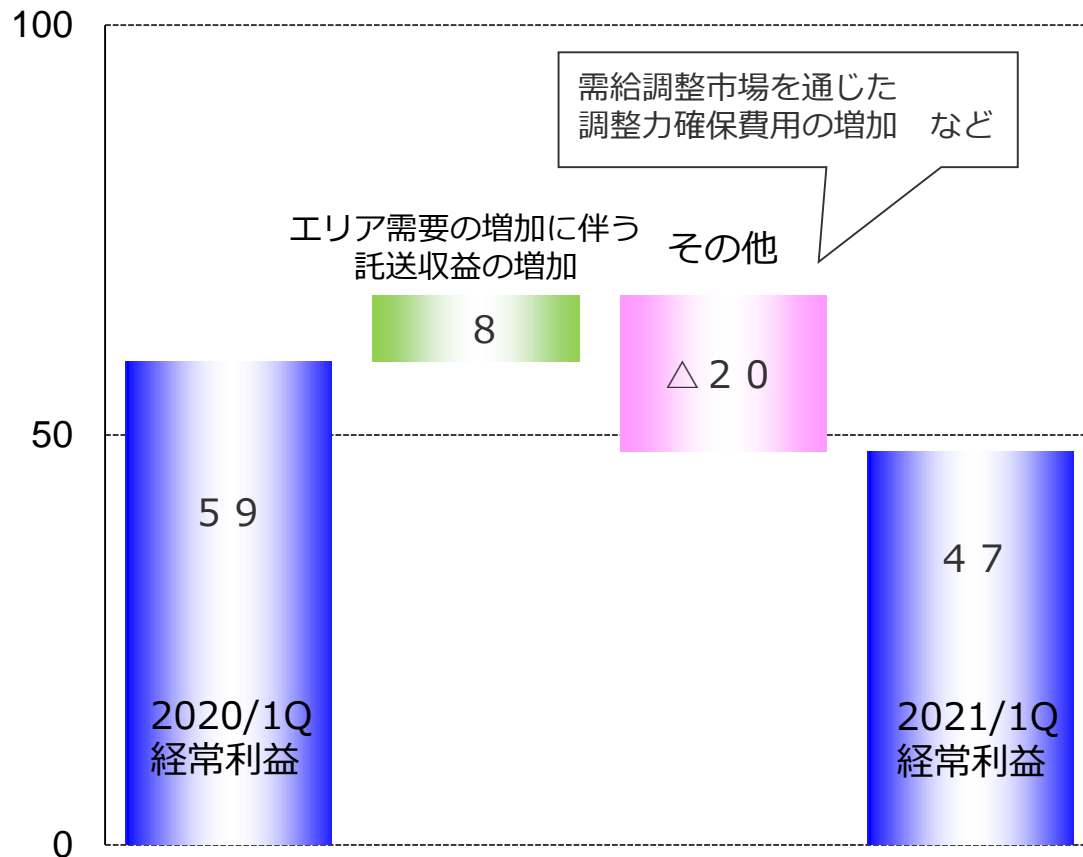
※ 他社販売電力量は期末時点で把握している電力量を記載しております。

セグメント別決算概要③：パワーグリッド

〈経常利益の変動要因〉

- 新型コロナウイルス感染症影響の反動などによるエリア需要の増加はあったものの、需給調整市場を通じた調整力確保費用の増加などから前年同期に比べ 12億円の減益

(単位：億円)



(エリア需要)

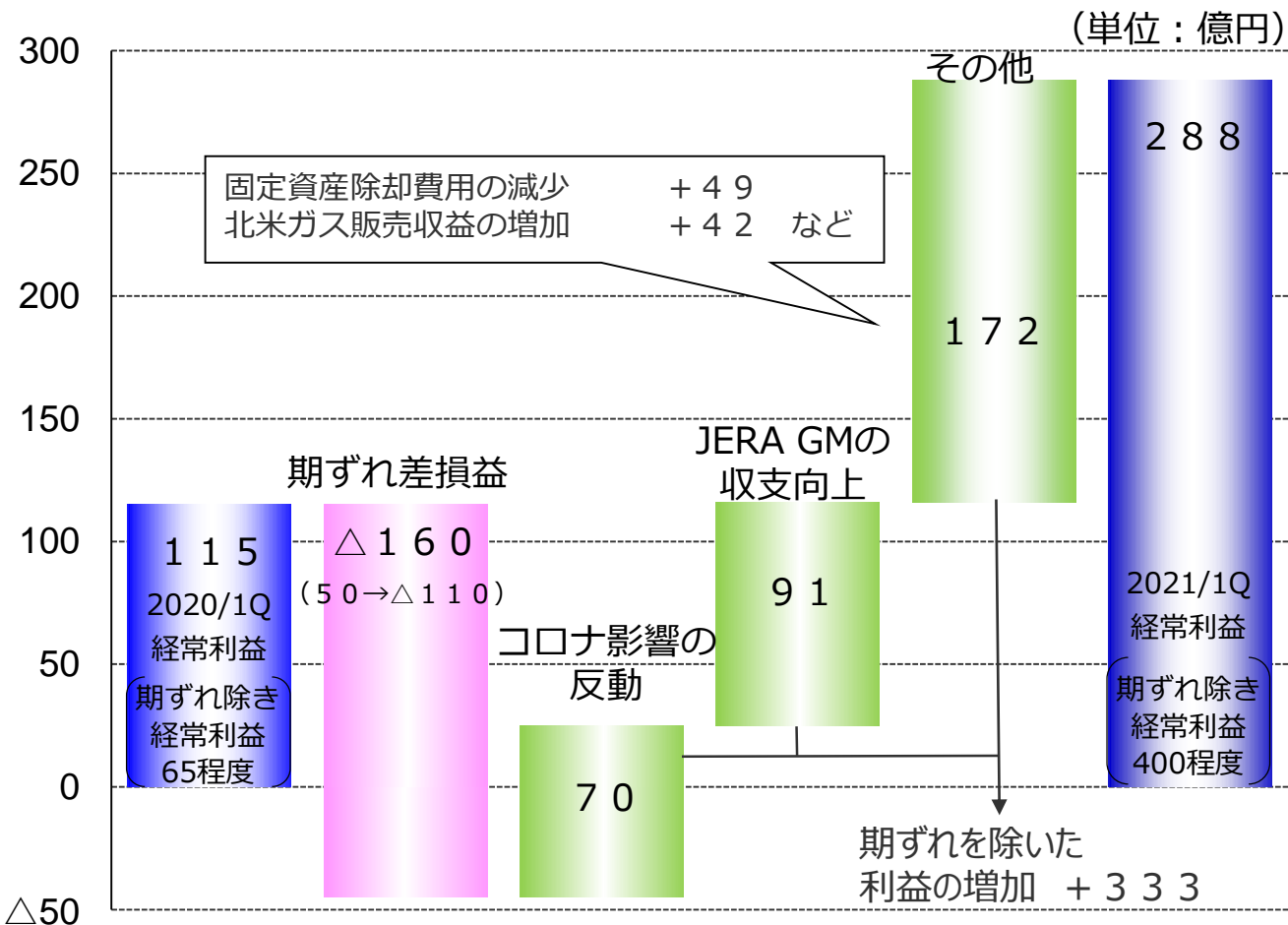
(億kWh,%)

	'21/1Q (A)	'20/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
エリア需要	292	273	19	7.1

セグメント別決算概要④：J E R A

〈経常利益の変動要因〉

- 期ずれが差益から差損に転じたことによる収支悪化はあったものの、新型コロナウイルス感染症影響の反動や、LNGおよび石炭トレーディング事業を行うJERA GMの収支向上などから、前年同期に比べ 173億円の増益



(CIF価格・為替レート)

	'21/1Q (A)	'20/1Q (B)	増減 (A-B)
原油CIF価格(\$/b)	66.9	32.3	34.6
為替レート(円/\$)	109.5	107.6	1.9

※2021/1Qの原油CIF価格は速報値

(参考：JERA連結決算値)

	'21/1Q (A)	'20/1Q (B)	増減 (A-B)
連結純利益(億円)	640 (869)	295 (189)	345 (680)

() 内は期ずれ除き連結純利益

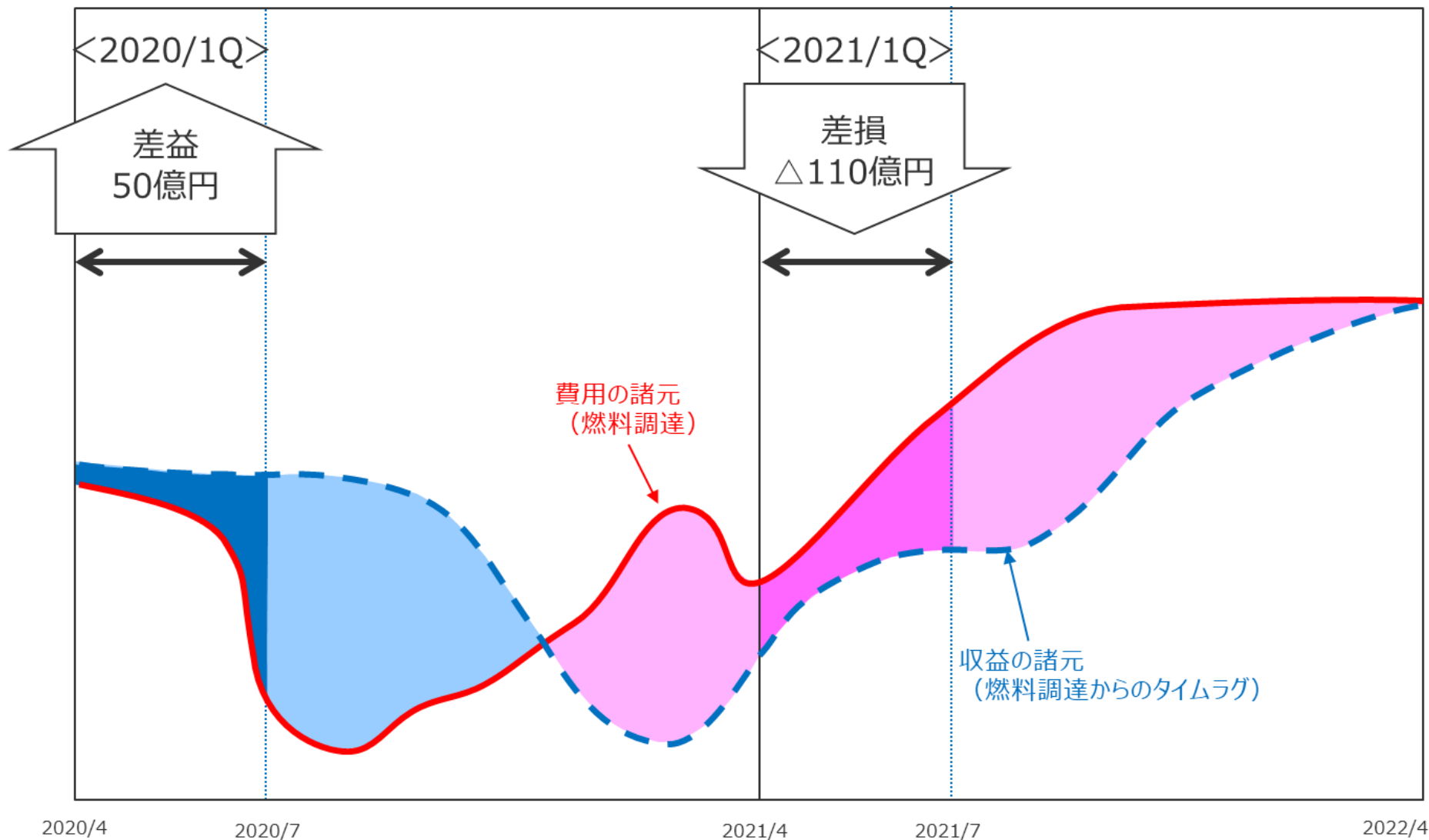
〈発電電力量〉（中部電力）

- **水力** 出水率が前年同期を上回り、2億kWh増加
- **新エネルギー** 前年同期並み

(億kWh,%)

	2021/1Q (A)	2020/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	28 (105.8)	26 (95.4)	2 (10.4)	6.3
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
新エネルギー	0	1	△0	△50.7
合計	28	27	1	4.4

(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



2021年度 業績見通しの概要①

〈業績見通し〉(連結) 2021年4月28日公表の業績予想値を修正

- 売上高：2兆4,000億円
燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加などにより、前回公表から400億円の増収
- 経常利益：1,100億円
燃料価格の上昇に伴う期ずれ差損の拡大により、前回公表から△200億円の減益
なお、期ずれを除いた利益は、1,500億円程度となる見込み（前回公表から変更なし）

- ・ 売上高は、2020年度に続き、2年連続の減収
- ・ 経常利益は、2018年度以来、3年ぶりの減益
- ・ 2016年度以来、5年ぶりの減収減益

(億円,%)

	今回公表 (A)	4/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	24,000	23,600	+400程度	1.7
経常利益	1,100	1,300	△200程度	△15.4
親会社株主に帰属する当期純利益	750	950	△200程度	△21.1

[参考] 前期比較

(億円,%)

	今回公表 (A)	2020年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	24,000	29,354	△5,350程度	△18.2
経常利益	1,100	1,922	△820程度	△42.8
親会社株主に帰属する当期純利益	750	1,472	△720程度	△49.0

2021年度 業績見通しの概要②

【主要諸元】

(中部電力ミライズの販売電力量)

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	4/28公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,099	1,099	-	-
グループ合計の販売電力量	1,180	1,180	-	-

[参考] 前期比較

競争影響△35程度、気温・景気等+30程度

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	2020年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,099	1,107	△8	△0.7
グループ合計の販売電力量	1,180	1,171	9	0.7

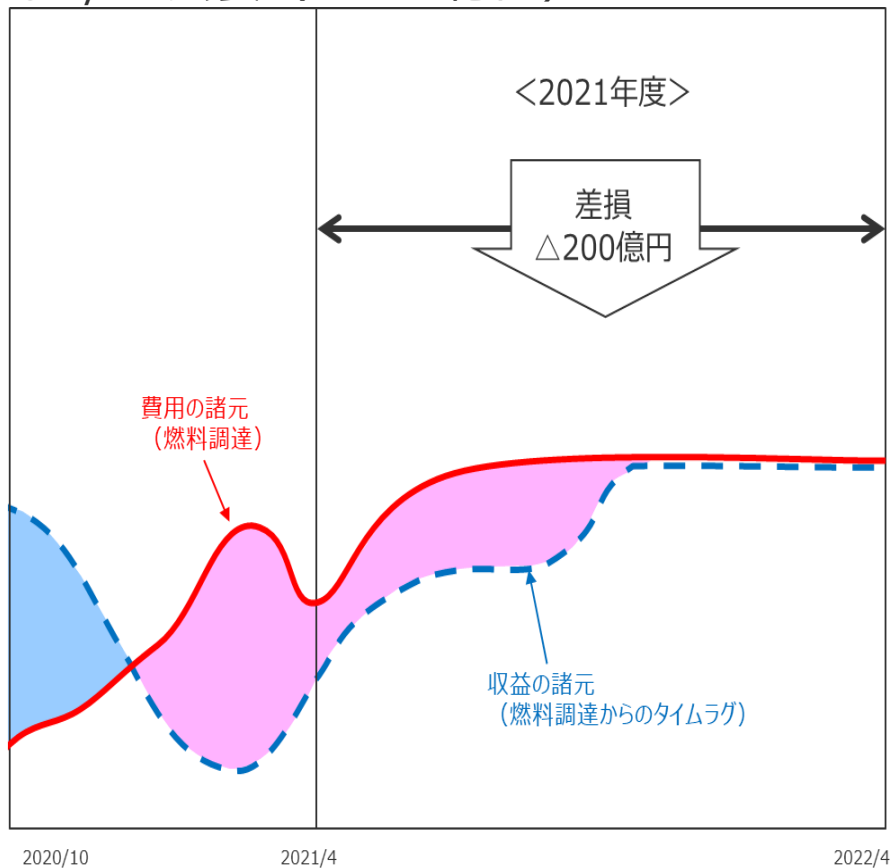
※ グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

(その他)

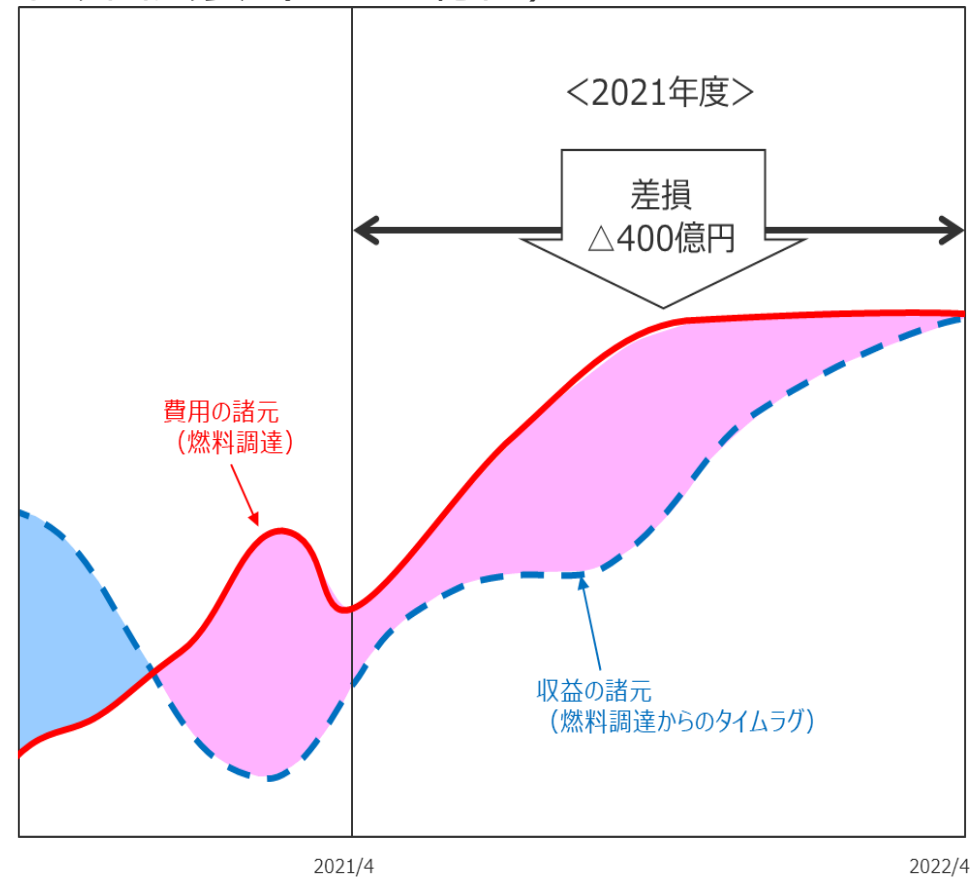
	今回公表	4/28公表	<参考> 2020年度実績
原油CIF価格 (\$/b)	72程度	62程度	43
為替レート (円/\$)	110程度	110程度	106
原子力利用率 (%)	—	—	—

(参考) 期ずれ影響のイメージ (年度見通し)

○4/28公表 (△200億円)



○今回公表 (△400億円)



Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

連結収支比較表

(億円, %)

	2021/1Q (A)	2020/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	5,249	6,823	△1,574	△23.1
持分法による投資利益	293	132	160	121.4
その他収益	25	18	6	34.7
営業外収益	318	151	167	110.6
経常収益	5,567	6,974	△1,406	△20.2
営業費用	5,026	6,438	△1,412	△21.9
営業外費用	55	54	1	2.8
経常費用	5,081	6,492	△1,410	△21.7
(営業利益)	(223)	(384)	(△161)	(△42.0)
経常利益	485	481	3	0.8
渴水準備金	—	△0	0	—
法人税等	145	136	8	6.4
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	7	△4	△61.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	337	337	△0	△0.2

連結財政状態の概要

(億円)

	2021/6末 (A)	2021/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	59,190	56,863	2,327
負債	37,399	35,826	1,573
純資産	21,790	21,036	753

<主な増減理由>

日本エスコン連結子会社化に伴う増加 など

	2021/6末 (A)	2021/3末 (B)	増減 (A-B)	2021年度 見通し
自己資本比率(%)	35.0	35.7	△0.7	34程度
有利子負債残高	26,194	23,336	2,858	28,000程度
D/Eレシオ (倍)	1.2	1.2	—	1.2程度

(%)

	2021年度 見通し	【参考】 2020年度
ROA	2程度 (3程度)	3.8 (3.4)
ROE	4程度 (6程度)	7.5 (6.3)

() 内は期ずれ除きの数値

(億円)

	2021年度 見通し	2021/1Q	【参考】 2020年度
戦略的投資	2,400程度 (3,900程度)	300程度 (1,800程度)	400程度 (1,500程度)

()内は2019年度からの累計額。当社は2019年度から2023年度までの5年間累計4,000億円以上の戦略的投資を目指しております。

本資料取扱上のご注意

本資料の業績見通しは、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。